

平成 27 年度 第 1 回部長・監督会議 議題

日時：平成 27 年 3 月 27 日 午前 9 時より

会場：愛知県スポーツ会館 第 1 会議室

【1】前年度の部長監督会議であげられた問題についての対応

1. ダブルエントリーについて
2. リーグの入れ替え戦について
3. 夏大会の日程について
4. 新進の日程について
5. 室内の会場について
6. 学連を出している大学への特典について
7. ポイント制度について
8. 新入生評価基準について
9. オーダー規約について

【2】今年度からの変更点について

1. 大会の使用球について
2. 高校生との交流会について
3. 室内の出場資格について
4. ミニリーグについて

【1】前年度の部長・監督会議であげられた問題についての対応

1. ダブルエントリーについて

〈前回の部長・監督の方のご意見〉

- ・主要大会を考慮して東海学生テニス連盟主催の大会の日程を組んではどうか

〈学連の今後の方針〉

- ・今年度は、ヨネックスオープン、東海中日を考慮して日程を組んだ（別紙参照）

2. リーグの入れ替え戦について

〈前回の部長・監督の方のご意見〉

- ・下部1位校と上部6位校を自動入れ替えにしてはどうか

〈学連の今後の方針〉

- ・主将主務会議で話し合った結果、下部1位校と上部6位校も入れ替え戦を行う（理由）
- ・実力を明らかにした方がよい
- ・チャンスを与えてほしい
- ・大学4年間最後の試合が自動入れ替えでなくなってしまう（4年生の意見）

3. 夏大会の日程について

〈前回の部長・監督の方のご意見〉

- ・夏大会を試験期間に行っていたため、夏季休業中に行ってはどうか
- ・予選と同じように土日で行うのはどうか

〈学連の今後の方針〉

- ・8月に岐阜でインカレが行われるため、夏大会を夏季休業中に行うのは日程的に厳しく、土日に本戦会場を借りることができなかつたため、例年通りの日程で行う。

4. 新進の日程、ポイントについて

〈前回の部長・監督の方のご意見〉

- ・新進を2.3月、チャレンジを10月で行ってはどうか

〈学連の今後の方針〉

- ・新進を2.3月、チャレンジを9.10.11月中に行う（別紙参照）
- ・今年度の新進のポイントの付け方
 - ①平成26年度新進大会と平成27年度新進大会のポイントを足して2で割ったポイントを平成27年度のポイントとする。
 - ②平成26年度の新進大会には出場したが、平成27年度の新進大会では出場資格に当てはまらず出場できなかった選手は、昨年の新進のポイントを平成27年度のポイントとする。
 - ③平成26年度の新進大会には出場し、平成27年度の新進大会でも出場資格があったが出場しなかった選手は、平成26年度の新進大会のポイントの半分のポイントが平成27年度のポイントとなる。

5. 室内の会場について

〈前回の部長・監督の方のご意見〉

- ・室内大会を愛知県体育館より会場費のかからない岐阜メモリアルセンターで行えばよいのではないか

〈学連の今後の方針〉

- ・今年度の室内大会は第50回目となるため、記念として昨年まで使用していた愛知県体育館で行う

6. 学連を出している大学への特典について

〈前回の部長・監督の方のご意見〉

- ・学連を出している大学に特典があってもいいのではないか
(エントリー費、登録費の割引、プラクティスコートの予約、セットボールのお渡し)

〈学連の今後の方針〉

- ・学連を出している大学に対し、エントリー費、登録費の割引は行わない
- ・プラクティスコートの予約は行わない
- ・セットボールのお渡しはしない

7. ポイント制度について

〈前回の部長・監督の方のご意見〉

- ・インカレのポイントを付けたほうがいいのではないか

〈学連の今後の方針〉

- ・インカレ、インカレインドア出場者に対し、ポイントをつけることにした。

※インカレインドアの出場資格は全日本学生ランキング上位者、各地域学生テニス連盟が推薦する選手であり、推薦選手も含まれるため、インカレのポイントの半分程度のポイントをつけることにした

シングルス

	96	64	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	8④	10⑥
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	50	65	80
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	90	160	300	400	500
東海学生テニス選手権大会		20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会予選						2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				45	80	150	200	250
全日本学生室内テニス選手権大会予選					1	2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				45	80	150	200	250
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選					10	15	20	25

ダブルス

	48	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	6④
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	45	60
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	80	150	200	250
東海学生テニス選手権大会		20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会予選					2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				40	75	100	125
全日本学生室内テニス選手権大会予選				1	2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				40	75	100	125
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選				10	15	20	25

8. 新入生の評価基準について

〈前回の部長・監督の方のご意見〉

- ・全国高等学校テニス選手権大会と全日本ジュニア選手権大会のレベルは違う
(全日本ジュニアベスト 64 とインハイベスト 32 が同じ)

(参考)

平成 26 年夏大時点での評価基準

本戦第 4 シード	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 4 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 4 以上
本戦第 8 シード	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 8 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 8 以上
本戦第 16 シード	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 16 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 16 以上
本戦ストレートイン	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 32 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 32 以上
予選上シード	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 64 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 64 以上

- ・高校 3 年次の成績を考慮する

※浪人生の場合、1 浪なら 1 つ下の評価を適用し、2 浪以上は評価しない

- ・他地域からの編入生の場合、地域によってポイント差があるため、学連がその選手の成績を考慮してシードを付ける。

〈学連の今後の方針〉

本戦第 4 シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 2 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 4 以上
本戦第 8 シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 4 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 8 以上
本戦第 16 シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 8 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 16 以上
本戦ストレートイン	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 16 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 32 以上
予選上シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 32 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 64 以上

- ・前年度の成績を考慮する

- ・浪人生は評価の対象としない

- ・他地域からの編入生の場合、地域によってポイント差があるため、学連がその選手の成績を考慮してシードを付ける。

9. リーグのオーダー規約について

〈前回のご意見〉

- ・ 1 1. 本戦出場者 1 2. 予選決勝進出者 1 3. 無資格 にしてはどうか
 - ・ 夏大会と春大会のどちらを優先させるか考えたほうがいいのか (2 と 3、6 と 7)
 - ・ 夏大会と春大会のよい成績を優先した方がいいのか (2 と 3、6 と 7)
- (参考)

全日本大学対抗テニス王座決定試合東海地区予選 東海大学対抗テニスリーグ戦 オーダー規約

選手出場順位は以下の規定に基づくものとする。

(1) シングルス

1. 前年度全日本学生単ランキング TOP 10 プレーヤー
 2. 本年度東海学生テニス選手権大会 単優勝者
 3. 本年度東海学生春季テニストーナメント大会 単優勝者
 4. 前年度全日本選手権 本戦単出場プレーヤー
 5. 前年度全日本選手権 予選単出場プレーヤー
 6. 本年度東海学生テニス選手権大会単本戦男子準優勝者・女子準優勝者～ベスト8進出者
 7. 本年度東海学生春季テニストーナメント大会単本戦男子・女子準優勝者～ベスト8進出者
 8. 前年度東海学生単ランキング TOP 10 プレーヤー
 9. 本年度東海学生テニス選手権大会 単本戦男子・女子ベスト 16 進出者
 10. 本年度東海学生春季テニストーナメント大会 単本戦男子・女子ベスト 16 進出者
 11. 無資格者
- * 1 は、試合前一週間を切らずに全日本学生単ランキングが更新された場合、更新された全日本学生単ランキングを適用とする。
- * 1. 8 は明らかに順位が上のものを上位とする。
- * 4. 5. 6. 7. 9. 10 は、当該大会において明らかに成績が上のものを上位とする。

(2) ダブルス

1. 前年度全日本学生複ランキング TOP 10 プレーヤー
 2. 本年度東海学生テニス選手権大会複優勝者
 3. 本年度東海学生春季テニストーナメント大会複優勝者
 4. 前年度全日本選手権 本戦複出場プレーヤー
 5. 前年度全日本選手権 予選複出場プレーヤー
 6. 本年度東海学生テニス選手権大会複本戦男子・女子準優勝者～ベスト4進出者
 7. 本年度東海学生春季テニストーナメント大会複本戦男子・女子準優勝者～ベスト4進出者
 8. 前年度東海学生複ランキング TOP 10 プレーヤー
 9. 本年度東海学生テニス選手権大会複本戦男子・女子ベスト8進出者
 10. 本年度東海学生春季テニストーナメント大会複本戦男子・女子ベスト8進出者
 11. 無資格者
- * 該当項目の和が少ないペアを上位とする。
- * 1 は、試合前一週間を切らずに全日本学生単ランキングが更新された場合、更新された全日本学生単ランキングを適用とする。
- * 1.8 は明らかに順位が上の者のいるペアを上位とする。
- * 4.5.6.7.9.10 は、当該大会において明らかに成績が上の者のいるペアを上位とする。

〈学連の今後の方針〉

- ・ 主将主務会議で①オーダー規約に本戦出場者を入れる②本戦出場者、予選決勝進出者を入れる、③現状通りの3択で多数決を取ったところ、③現状通りで決まったため、オーダー規約は変更しない。
- ・ オーダー規約 2.3 と 6.7 の春大会、夏大会のどちらを優先するかについては、前年度の主将主務会議話し合わなかったため、今年の主将主務会議（11月の予定）で話し合うこととする。

【2】今年度からの変更点

1. 大会の使用球について

- ・春大会、夏大会、チャレンジ大会、室内大会の予選の使用球は4球缶を使用する。
- ※本戦は昨年同様、室内大会以外2球缶を使用する。

2. 高校生との交流会について

- ・東海学生と愛知県高校テニス部との交流会を行う
(目的) 大学庭球部の雰囲気を感じ、大学でもテニス続ける意欲と興味を持ってもらう
(方法) 交流会を開いてくださる大学を募集し、その中から高校生が大学を選び、選んだ大学の部活に参加する。
メニューは各大学に任せる。

3. リーグの日程について

- ・今年度のリーグ戦は以下の日程で行う (別紙参照)
 - 9/7 開会式
 - 8 第1戦 (男女)
 - 9 第2戦 (男女)
 - 10 予備日
 - 11 第3戦 (男女)
 - 12 第4戦 (男女)
 - 14 第5戦 (男女)
 - 15 予備日
 - 16 予備日

3. 室内の出場資格について

- ・室内の出場資格を変更した

(目的) ・毎年、室内大会に出場できる本数を同じにするため。

- ・年間を通して好成績を残した人を優先するため。

詳細は以下のとおり

- ・エントリー方法

室内大会の出場を希望する選手がエントリー会前にエントリーをする

- ・シングルス出場者の決め方

平成 27 年度チャレンジトーナメント大会終了時の東海ポイントランキングを参考にし、エントリーした選手をポイント順に並べ、本戦出場者、予選出場者を選出する

- ・ダブルス出場者の決め方

ダブルスのペアはどのペアでも可能とする

平成 27 年度チャレンジトーナメント大会終了時の東海ポイントの合計をペアのポイントとし、エントリーした組をポイント順に並べ、本戦選手、予選選手を選出する。

- ・ドロー数

予選 シングルス 24 人 ダブルス 12 組

本戦 シングルス 8 人 ダブルス 4 組

(参考)

平成 26 年度の室内の出場資格

- ・平成 26 年度東海学生テニス連盟に登録済みの者

- ・予選 1. 平成 26 年度東海学生春季テニストーナメント大会

男女単ベスト 16 以上、男女複ベスト 8 以上の選手及び組

- 2. 平成 26 年度東海学生テニス選手権大会

男女単ベスト 16 以上、男女複ベスト 8 以上の選手及び組

- 3. 平成 26 年度東海学生新進テニス選手権大会

男女単ベスト 4 以上、男女複決勝戦進出者の選手及び組

- ・本戦 平成 26 年度東海学生テニス選手権大会

男女単ベスト 16 以上のうちポイント上位 6 名

男女複ベスト 8 以上の選手及び組のうちポイント上位 3 組

4. ミニリーグについて

- ・ミニリーグを開催する。

(目的)・試合経験を増やす。

- ・リーグに出られない選手に団体戦を経験してもらう
- ・大学の枠を超えた交流を深める。
- ・部員を減らさない。

詳細は下記のとおり

- ・日 程 予選 11月28日(土)、29日(日)、12月5日(土)
予備日 12月6日(日)
本戦 12月12日(土)、13日(日)
予備日 12月19日(土)
- ・会場 予選 大学オムニコート
本戦 大学オムニコート
- ・チーム構成 1団体 4人または5人
大学をまたいでのチーム作成は可能
- ・試合方法 ダブルス2本、シングルス1本
(一対戦で同じ選手が2回ダブルスに出場することはできない)
8ゲームプロセットマッチ
各ブロックに分かれて、総当たり戦とする
- ・ブロック 1ブロック4チーム
- ・出場資格 以下の項目に該当しない選手
 1. 1部リーグ(平成27年度)において1試合でも試合に出場した選手
 2. 平成27年度東海学生チャレンジトーナメント大会終了時の東海学生ポイントランキングのポイントがシングルス、ダブルスどちらか50ポイント以上ある選手
- ・エントリー会 10月17日(土) 南山大学名古屋キャンパス
- ・エントリー代 1人2,000円
- ・その他 エントリー会后、グループのポイント数(シングルス)を計算してポイントが高い順に各ブロックに配置する。(予選のブロック内で強いチーム同士があたらないようにするため)